

# 令和7年度学校自己評価システムシート（県立越谷総合技術高等学校）

目指す学校像	チームで働く力を身につけた人間性豊かな産業人材を育成する学校
--------	--------------------------------

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ姿勢を育て、生徒一人一人の学力を向上させる。</li> <li>越総生としての自信と誇りを持たせ、豊かな人間性を育てる。</li> <li>キャリア教育の充実により、生徒の個性や可能性を伸ばし、主体的な進路実現を支援する。</li> <li>本校の教育力を地域で発揮し、地域社会との連携・協働により学校の魅力化を進める。</li> </ol>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	11名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	誠 次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】 学校全体で授業力向上に取り組んでいる。授業満足度は、90%以上と高く、生徒に寄り添った教育実践が評価されている。</p> <p>【課題】 授業には満足しているが、学習習慣が確立していない生徒が多数いる。</p>	ICTをさらに活用した、学校全体の授業力向上、学習習慣の定着	<ol style="list-style-type: none"> <li>効果的な指導方法、評価方法を検討し、カリキュラムを設計する。</li> <li>タブレット端末等を活用した自主学習を推進する。</li> <li>朝学習の時間を用い、基礎学力向上のための学習習慣を定着させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>教科毎のカリキュラムマネジメントの実施(各学期1回以上)、観点別評価に関する総括の実施。(教育課程委員会12月)</li> <li>自主学習にタブレットを積極的に使用するように、宿題や課題をタブレットへ配布</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>②授業満足度90%以上(授業学習に関するアンケート R6年度90%)</li> <li>③朝学習の時間を有効に使えたか。</li> </ol>	<p>前向きに授業に取り組む生徒が多い</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①毎学期、学科内で規定に基づき丁寧に観点別評価を行った。</li> <li>②各教科の課題でタブレットが活用できた。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①②授業満足度は92.8%(1学年は95.8%)</li> <li>③朝学習の時間を有効に使えた者57%(2学年(39期生)は昨年の51.7%から65.9%に上昇)</li> </ol>	A	工夫した授業が実施されているが、生徒のアンケートも検討し、さらに充実した授業が展開できるよう努める。アンケートのほとんどが8~9割近く肯定的ななか、朝学習の有効性が6割弱と低かった。現2年生の取り組みを参考にしたい。
2	<p>【現状】 「礼儀正しさと身だしなみ」や「ネットトラブルの指導案件が発生していないこと」について、外部から高い評価をいただいている。</p> <p>【課題】 部活動の参加率の低下、学校生活に悩みを抱える生徒の増加。</p>	<p>○越総生としての自覚と誇りを育み、礼儀正しい態度の育成</p> <p>○安心・安全な学校生活の保障</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>挨拶運動や身だしなみ指導により、規範意識を醸成する。</li> <li>部活動の日の徹底し、部活動参加率を向上させる。</li> <li>実践的・体験的な人権教育を推進し、人権感覚を磨く。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ネットトラブル防止講演会を継続実施し、ネットトラブルを未然に防止する。</li> <li>②校外交通安全指導を実施する。</li> <li>③教育相談を定期的実施する。</li> <li>④関連機関と連携した支援を行う。</li> <li>⑤いじめを未然に防止する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①挨拶運動の実施(学期1回)、身だしなみ指導(年5回以上)</li> <li>②部活動の日の徹底(月、金)、部活動参加率の向上(前年比)</li> <li>③人権感覚育成プログラムの実施</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ネットトラブルによる生徒指導件数</li> <li>②校外交通安全指導(毎日)</li> <li>③教育相談の定期実施(月1回以上)</li> <li>④ケース会議の実施(随時)</li> <li>⑤いじめアンケートの実施(学期毎)</li> </ol>	<p>落ち着いた学習環境が保たれた。生徒指導案件には丁寧に対応した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①挨拶指導は2週間に1回、身だしなみ指導は9回実施。</li> <li>②部活動参加率R6,83.3:R7,83.5%</li> <li>③全学年で「めぐみ」の視聴LGBTQ研修(3月実施)</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①3件についてきちんと対応した。</li> <li>②毎日実施。</li> <li>③定期的実施した。</li> <li>④スクールカウンセラー等との連携も含め50回以上実施した。</li> <li>⑤毎学期実施し、早期対応ができた</li> </ol>	B	生徒は落ち着き、学校生活を充実させていた。挨拶運動や、身だしなみ指導によることも大きい。来年度も継続する。教員による毎日の校外交通安全指導の結果、大きな交通事故は発生していない。引き続き実施していく。ネットトラブル関係は3件だったが、生徒指導については、精神的に不安定な生徒が指導を受けていることもあるので、引き続きSCやコーディネーターによるアドバイスを受ける。
3	<p>【現状】 ここ数年、内定率100%の高水準を維持し、生徒の就職活動を強力にサポートしている。</p> <p>【課題】 ミスマッチ防止、新規企業開拓、進学希望者増加による進路選択の多様化に対応する必要がある</p>	<p>○キャリア教育の充実</p> <p>○系統的・組織的な進路指導体制の確立</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①企業との連携強化：就職ガイダンスや企業実習など、生徒と企業の接点を増やす機会を創出する。</li> <li>②生徒個々における目的の明確化：自分の将来を考え、生徒自ら到達点(目的)を明確にできるようにする。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①進学希望者向けの補習授業を充実させ、学習面でのサポートを強化する。</li> <li>②自習できるよう、生徒が集中して学習できる環境を整える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①講演会・セミナーの実施(各学年5回以上)</li> <li>Google Classroomを利用し、説明会等の情報を積極的に生徒に伝える</li> <li>②卒業生による進路講演会の実施</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①進路指導満足度(進学・就職それぞれ80%以上達成できたか)</li> <li>②進学希望者用自習室が機能したか</li> </ol>	<p>例年どおり就職決定率100%の結果を出している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①1年4回、2年3回、3年6回</li> <li>②卒業生85名参加(6月3日)</li> </ol> <p>積極的に生徒に情報提供ができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①満足度 進学97%、就職96%</li> <li>②進学希望者は多数いるが、各自で学習に取り組み、自習室は使用しなかった。特に、11月、12月は感染症予防の観点からも、利用しなかったことはよかった。</li> </ol>	A	企業の求める人材に合った生徒のみが合格するようになってきている。特に、コミュニケーション能力は必要なので、進路行事や面接練習に併せて、授業や日常生活でも指導を行っている。大学入学の門戸は広がっているが、基礎学力の向上は必須である。学年や分掌、教科との連携が必要である。
4	<p>【現状】 本校の魅力を発信できる出前授業の依頼は増加している。</p> <p>【課題】 情報発信は行っているが、事後報告が多いことが課題である。</p>	<p>○専門性をアピールし、志願者増加の実現</p> <p>○地域と連携した開かれた教育の実現</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①出前授業、体験入学、学校説明会、地域連携授業、文化祭、HPで6学科の魅力を伝える。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域企業や大学と連携し、本校の魅力を発信する。</li> <li>②未来の職業人材育成事業を活用し、地域連携や、外部講師を招聘し講演会などを実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①出前授業等の回数、体験入学等の参加者数、HPのアクセス数(1077286、4/24)</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域事業やイベント等への参加数</li> <li>②地域等の人材を活用した学びの機会と外部講師による講演会・講習会や課題研究等での指導講師数</li> </ol>	<p>パンフレットを作成し、学校説明会等でアピールした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学校説明会12回、上級学校訪問3回、出前授業4回</li> <li>HP更新130回以上。</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>①6学科で計30回</li> <li>②未来の職業人材育成事業で10テーマ、各科の課題研究で6つの講評をいただいた。</li> </ol>	B	他校の実践等も参考に、本校及び各科の情報をより広く発信する方法・方策を研究・実施する。次年度もイベント等に参加して中学生へのアピールにつなげる。出前授業等は、依頼を待つのではなく、積極的に実施する。

学校関係者評価
実施日 令和8年2月9日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>・2学年が、朝学習でタブレットを有効活用しているようなので、他学年、教科でも更なる活用の検討をお願いします。</p> <p>・本校生徒の礼儀正しさ、身だしなみの良さは、開校当初から現在まで変わらない。今後も継続を望む。</p> <p>・就職内定率100%は素晴らしい。今後も継続してほしい。一方で、ミスマッチを防ぐことが大切だと思うので、追跡調査を実施していただきたい。</p> <p>・保護者が学科の先生と相談できる機会を作ってほしい。</p> <p>・体育祭やチューリップフェスタ等の出羽地区の行事、越谷産業フェスタ等の市の行事への参加について、大変感謝している</p> <p>・公式SNS活用をぜひ検討してほしい。</p>